

2012 スーパー耐久 Rd,6

吉田広樹
〈オートポリス〉

いよいよこのオートポリスのレースがシーズン最終戦となります。今回開催されるオートポリスは九州にあるサーキットなのですが、標高も高く天候の影響を受けやすいサーキットです。さらにスーパー耐久初開催ということもあり、チーム、ドライバーも含めほとんど経験が浅いため、いかに短い時間で合わせていけるかがポイントとなるレースでした。

11月8,9日 フリー走行

今回はこのスーパー耐久が初開催ということもあり、木曜日と金曜日にテストが用意してありました。まずはセッション開始と共にコースインし、マシンのバランスをチェックします。徐々にペースをあげていき計測1周ほど走ったところでチームメイトの堀田選手にドライバー交代します。その後、小泉選手にも確認してもらい、最終的に2'01.5というタイムを刻むことが出来ました。チームも初めてのサーキットでしたが、持ち込みのセッティングも走りやすく、この日は非公式ですがトップタイムで終わることが出来ました。走行後、監督とドライバーみんなまでコースを歩き、使ってもいい縁石やそうでない縁石、ラインの確認など行いました。金曜日からは公式テストとなり1時間のテストが3本あります。この日は各セッションごとにマシンのセッティングを変更し、3人のドライバーで乗り比べました。前日はトップタイムでしたが、周りのマシンもどんどんタイムを上げてくるため、アンダーステアを解消すべく車高やスプリングなど積極的にセットチェンジを行いま



した。そして決勝レースにふさわしいセットと予選用のセットなど、分けて確認しながら決めていきます。最後の走行中に少しトラブルもありましたが、チームの迅速な作業のおかげでセッション中にコースに戻る事ができ、バランスを確認してこの日のテストを終えました。

11月10日 公式予選 DRY

ST-3クラス→5位/8台中

この日は曇り空の中、公式スケジュールが進んでいきます。今回は予選前に45分のフリー走行が用意してあったため、この時間も予選のセットアップに使いました。NEWタイヤは使用しませんでした。比較的程度のいいタイヤで予選を想定したシミュレーションを行い、午後からの予選に備えます。午後に入り、今にも雨が降り出しそうな中、公式予選がスタートしました。まずはAドライバーの小泉選手がアタックを開始します。計測1周目から自己ベストを更新しタイムをあげていたのですが、他車のクラッシュにより赤旗中断となります。再開後も更にタイムアップし、2'02.408というタイムで7番手につけます。続いてBドライバーのアタックで私が走らせて貰います。しっかりタイヤを温め計測2周目に2'01.0という自己ベストタイムを刻みます。更に続けてアタックし、2'00.322までタイムをあげ、2番手で予選を終えることとなりました。その結果A,Bドライバーの合算タイムによりクラス5番手から明日の決勝レースをスタートすることになりました。



<NO.1>

2012 スーパー耐久 Rd,6

吉田広樹

〈オートポリス〉

11月11日 決勝レース NET

ST-3クラス→7位/7台中

この日は朝から雨が降ったり止んだり、安定しない天候の中フリー走行の時間を迎えます。しかし雨と霧による視界不良からスタート時間をずらしていましたが、一向に天候回復の見込みがないためフリー走行は中止となり、レース前に10分間のウォームアップが設けられることとなりました。そしてレースに向けてスタート進行の時間を迎えました、天



候が一向に回復しないため急遽主催者と参加者でミーティングが開催され、3時間のレースを2時間に短縮し、セーフティカー先導の中レースをスタートすることとなりました。チームと作戦やドライバーの走る順番など考え直した結果、私は最後のステイントを任されることになりました。

そしていよいよシーズン最後のレースがスタートするのですが、セーフティカー先導の中、堀田選手のドライブでレースがスタートしました。レースは2時間と短縮されましたが、2回のピットは義務付ナとなるため、レーススタート1周目に何台ものマシンがピットインしドライバー交代を行いました。35号車は2周目にピットインし堀田選手から小泉選手へとドライバー交代を行ったのですが、SC中ということもありポジションを落としてしまいます。その後は6周回目までSCランが続き、いよいよレース再スタートとなりました。そこから悪コンディションの中、小泉選手がブッシュしてくれました。2時間のレースうち、ひとりのドライバーが最長でドライブしている時間は2/3以下と決まっているため、残り80分を過ぎた時点で小泉選手から私へとドライバー交代を行いました。これで2回のピットが終了しているため、SCが出てこのまま走り続けることとなります。しかし私へと交代した1周目に視界不良のため

再度SCカーが出てしまいます。このタイミングでまた2回目のピットインを済ませていなかった各チームがドライバー交代を行います。さらにSCカーが2台コースインしたのですが、先導する場所が35号車にとっては都合のいい場所ではなかったため、同じクラスのマシンからほぼ周回遅れとなってしまいました。ここから7周のSCカーの後、再スタートがきられクラス6番手のマシンを追いかけます。再スタートから2周目にトップのマシンに周回遅れにされてしまったのですが、そこで急に雨脚が強まったため3度目のSCカーが入ります。SCカーの看板を確認した直後、SCカーラン中にも関わらず、私は川に乗ってしまいスピアウトしてしまいました。その後はコースに戻り列の最後尾につけたのですが、そこでレースは赤旗終了となってしまいました。

今回はポジションをあげることも出来なかった上に、SCラン中のスピンなどチーム関係者、チームメイトの皆さんに本当にご迷惑をお掛けしてしまい申し訳ありません。ドライバーとしてしっかり考え直さなければいけないことだということを実感しております。シーズン最後のレースを今回のように皆さんに迷惑をかけてしまう形で終わることは凄く悔しいですが、今回のミスもしっかり反省し、今後のレースに繋げていきたいと思ひます。

今シーズン私にチャンスを下されたTECHNO FIRSTの皆さん、チームメイトの皆さん、そしてスポンサー様や関係者の皆様、1年間本当にありがとうございました。来シーズンの活動は全く決まっていますが、TECHNO FIRSTさんのようなプロフェッショナルなチームで速いチームメイトと一緒に走れた1年は本当に大きな経験になりました。来年もこのようなチームでレースが出来るように頑張っていきたいと思ひます。それでは引き続きご指導、ご支援宜しくお願い致します。

TECHNO FIRST 吉田 広樹



〈NO.2〉